

平成 28 年度土壤医検定試験等の案内

一般財団法人 日本土壤協会

平成 24 年度から土づくりの人材育成を目的として行っている土壤医検定試験は 3,000 人を超える受験者（昨年度）があるなど次第に認知度が高まってきております。本年度は 5 回目の土壤医検定試験となりますが、その実施概要をご案内いたします。

本年度は特に受験しやすいように準会場の設定を充実することにしております。

・土壤医検定試験の実施内容

1) 試験実施日：平成 29 年 2 月 12 日（日）

2) 試験会場

(1) 試験会場は下記の都市での実施を予定しています。

	会 場
都市名	札幌、仙台、東京、福井、名古屋、大阪、岡山、福岡

(詳細は 9 月中旬頃ホームページでお知らせします。)

(2) 農業系高校、農業大学校、専門学校、短期大学等の準会場設定

当協会では人材の裾野を広げる意味で今年度においては学生が在学中の学校を試験会場とする準試験会場を充実させます。

項 目	内 容
対 象	農業系高校、農業大学校、専門学校、短期大学
受験者数	概ね 15 名以上（全級の合計、教職員も含む。同一都道府県の隣接校生も含む）

準会場指定のご希望がある場合には平成 28 年 10 月末までに土壤医検定試験事務局へご相談下さい。

沖縄県については受験会場が遠隔地にあること等を考慮して、平成 28 年度より準会場として設定します。

3) 受験区分・試験内容等

検定試験は単に土壤に関する知識のみではなく、土づくりと作物の生育・収量・品質との関係を重視した出題とします。受験区分と試験内容等はおおよそ以下の通りです。

区 分	1 級	2 級	3 級
試験方法	学科試験 + 記述試験 + 業績レポート	学科試験	学科試験
受験資格	土づくり指導又は 就農実績 5 年以上	問わない	問わない

出題範囲	3級、2級レベルの知識に加え、作物生育との関係での土壌診断と対策の指導ができる知識と実績 (土壌化学性、物理性、生物性の改善対策、生理障害・土壌病害の診断と対策等)	3級レベルの知識に加え、施肥改善の処方箋が作成できる知識 (土壌の化学性、物理性、生物性と作物生育、施肥改善対策、作物の施肥特性と施肥管理、作物生理障害・土壌病害の診断、土壌診断結果に基づく施肥設計等)	土づくりと作物生育との関係の基礎知識 (土壌の特性と施肥管理、土壌診断項目の見方、土壌診断の進め方、主要作物の施肥特性、肥料、堆肥、土壌改良資材の特色と使い方等)
学科試験 問題数	◆マークシート方式 4者択一 50問(50点)	60問	50問
回答方式	◆記述式問題 (25点) ◆業績レポート* (25点)	マークシート方式 4者択一	マークシート方式 3者択一
合格目標	100点中70点以上	60問中40問以上正解	50問中30問以上正解

*業績レポートは 土づくり指導、土づくりに関する調査研究、土づくりの実践のいずれか該当する項目について予め作物の生育改善やコスト低減につながった土づくり業績(参考資料、写真があれば添付)をとりまとめ、試験当日試験監督官に提出(細部は受験案内発表の際ホームページで公表)

4) 検定試験資格区分と知識・技術レベル

試験合格後、当協会に登録していただくことにより「土壌医」等の資格の名称が使えます。資格登録と資格試験合格等との関係は以下の通りです。

資格	検定試験	レベル
土壌医	土壌医検定1級	土づくりについて高度な知識・技術を有し、また、5年以上の指導実績又は就農し土づくりに取り組んできた実績を有する者で、処方箋作成とともに施肥改善、作物生育等改善の指導ができるレベルにある者。
土づくり マスター	土壌医検定2級	土づくりに関し、やや高度な知識・技術を有するとともに、土壌診断の処方箋を作成できるレベルにある者。
土づくり アドバイザー	土壌医検定3級	土づくりに関する基礎的な知識・技術を有し、土づくりアドバイザーとして対応できるレベルにある者。

5) 申込み期間と合格発表

詳細は9月中旬頃協会ホームページでお知らせします。

6) 受験料及び土壤医資格登録料

受験料

1級 10,000円 (消費税込み)

2級 6,000円 (消費税込み)

3級 5,000円 (消費税込み)

(高校生以下の団体受験(10名以上)の場合は3,000円(消費税込み))

資格登録料 1級、2級、3級とも6,000円(消費税込み)

7) 出題範囲

原則として受験される試験区分ごとの参考書から出題されます。(項の参考書を参照ください。)

・ 研修会日程と会場

土壤医検定試験に関する研修会とともに、資格登録者を中心とした研修会を行います。研修会の内容については、各会場での開催の1ヶ月前までに協会ホームページでご案内します。

1) 主として1級検定試験を目指す方を対象とした研修会

研修会では1級の参考書のポイントやこれまでの出題傾向、昨年度の問題の解説を内容とする研修テキストを配布して行います。

会場は東京です。

2) 主として2級、3級検定試験レベルの研修会

研修会は主に2級及び3級検定試験を目指す方を対象に行います。研修会では2級及び3級の参考書のポイントやこれまでの出題傾向、昨年度の問題の解説を内容とする研修テキストを配布して行います。

会場は札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡です。

但し、各会場とも受講者が定員になり次第締め切ります。また、受講希望者が20名に達しない場合は開催しない場合があります。(その場合は事前にご連絡します。)

3) 資格登録者研修会

資格登録(土壤医、土づくりマスター、土づくりアドバイザー)された方を中心に継続研鑽を兼ねた研修会を行います。また、未登録者も参加出来ます。資格登録者の優れた業績発表や土壤分析データを基に班別に診断結果に基づく対策について事例研修などを行うことにしています。

開催場所等については検討中です。

4) 出前研修

まとまった受講者が見込まれる場合には、要請により出前研修を検討いたします。開催時期は基本的に9月~11月を予定しています。早めにご連絡ください。

・参考書

土壤医検定試験の教材として1級用、2級用と3級用の参考書を刊行しています。

また、昨年10月には1～3級参考書の各章の要点となるポイントと出題傾向、過去問題の解説を内容とする既出問題集を刊行しています。

なお、3級参考書は一部の農業高校及び農業大学校で副読本としても活用されています。

参考書の購入申込みと定価は以下の通りです。

当土壤協会のホームページからダウンロードした参考書申込書に必要事項を記載してインターネット又はファックスでお申し込み下さい。

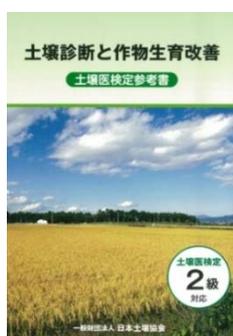
定価（1冊当り）



定価：4,645 円

定価はすべて消費税込

【送料無料】



定価：3,780 円



定価：1,944 円



定価：1,998 円

・後援等について

平成28年度の土壤医検定試験の主催、後援は下記の通りです。本年度は全国土壤改良資材協議会が後援団体に加わりました。

主催：一般財団法人 日本土壤協会

後援：農林水産省、全国農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会、全国農業高等学校長協会、日本園芸農業協同組合連合会、日本生活協同組合連合会、一般社団法人全国肥料商連合会、全国エコファーマーネットワーク、全国土壤改良資材協議会